

平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の結果の概要と 高津中学校における今後の取組について

清秋の候、保護者の皆様にはますますご清祥のことと拝察いたします。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校におきましては、学校教育目標を実現するため、

- | |
|-----------------|
| ① 確かな学力、生きる力の育成 |
| ② 豊かなこころ（心身）の醸成 |

の2点を重点目標として、日々の教育活動に取り組んでおります。

このたび、4月18日（木）に3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の調査結果から見えてくる本校がめざす教育活動の成果と課題の一部をお知らせし、今後も保護者・地域の方々と共に本校の教育活動をより進めていくことができると考え、この報告書を作成いたしました。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることが調査の実施要領にも示されております。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。

1. 調査結果の概要

（※数値％は「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」の合計数値です。また、（ ）内の数値は全国平均の数値を表します。）

（1）教科の調査（○は概ね満足できる状況と考えられる内容、●は改善を必要とする状況と考えられる内容です。）

① 国語

*全国結果を50とし、それに対する本校の結果を表しています。

【昨年度の目標】

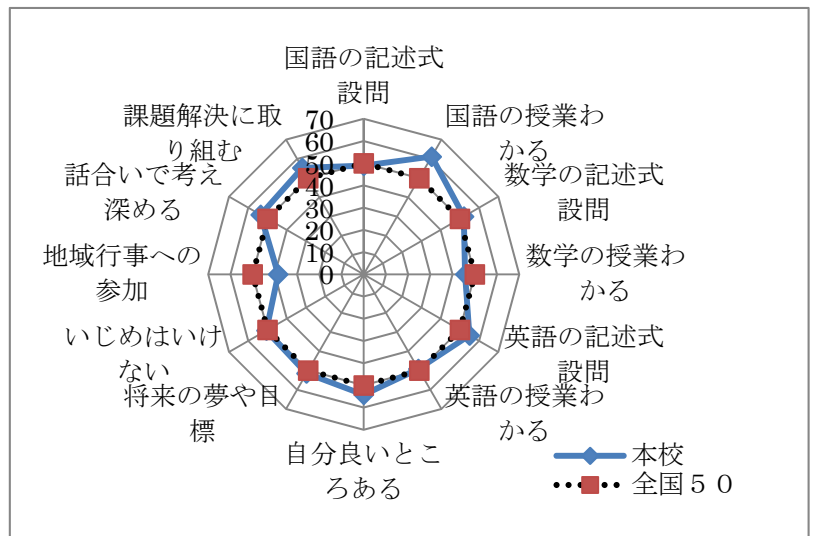
各領域で全国の平均正答率を上回ることをめざすとともに、自分の考えや手順等を伝えることを通して、記述式問題の正答率を全国平均より10ポイント上回ることをめざします。

【現状と課題】

○「読むこと」「読む能力」に関する問題の平均正答率は74.7%で全国よりも2.5ポイント上回っております。

○「国語の授業の内容はよくわかりますか」という質問に対しては88.8%（77.6%）の生徒が肯定的な回答をしており、授業に意欲的に参加している様子が見られます。

●記述式問題の平均正答率は75.4%で全国よりも1.1ポイント下回っています。「全国平均正答率より10ポイント上回る」という目標を達成することはできませんでした。文章等で表現する力をさらに身につける必要があると捉えています。



② 数学

【昨年度の目標】

国語と同様に、説明する問題の正答率を全国平均より10ポイント上回ることをめざすとともに、日常とのつながりを意識した授業を心がけ、数学に関する関心等の数値を5ポイント程度向上することをめざします。

【現状と課題】

○「数量や図形などについての知識・理解」に関する問題の平均正答率は74.6%（71.3%）でした。今後も授業の工夫を行いながら、より知識・理解の定着を図っていきたいと考えています。

●記述式問題の平均正答率は49.2%であり、全国平均よりも2.1ポイント上回っているものの、「全国平均正答率より10ポイント上回る」という目標を達成することができませんでした。授業改善を通して目標に近づきたいと考えます。

③ 英語

【現状と課題】

○記述式の設問においての平均正答率は11.8%で、全国よりも5ポイント上回っています。

○「話すこと」においての、外国語表現の能力に関する問題の平均正答率は28.6%（28.1%）で、全国とほぼ同程度となっております。

- 「英語の授業の内容はよくわかりますか」という質問に対しては、肯定的な回答が全国平均とほぼ同程度の割合でした。また、「1, 2年生の時に（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた」という質問に対しては 78.3%（62.9%）の生徒が肯定的な回答をしています。本校の推進している「気持ちや考えを伝え合う」活動が浸透していることがうかがえます。
- 「英語の授業はよくわかりますか」という質問に対しては 65.2%（66.0%）の生徒が肯定的な回答をするにとどまりました。今後の課題として、わかりやすい授業をさらに追究する必要があると捉えています。
- **3教科ともに知識・理解の部分で良好な状況が見られます。「国語への関心に関する質問」について肯定的に回答した生徒は 73.6%（66.9%）と全国平均を上回っておりますが、「数学への関心に関する質問」について肯定的に回答した生徒は 70.4%（73.1%）にとどまり、さらに関心を高めていきたいと考えております。**
- 「英語への関心に関する質問」では、肯定的に回答した生徒は 74.0%（69.3%）と全国を上回っています。「やり取り」「発表」の活動が多く行われている様子がうかがえます。さらに、「概要や要点を理解する」活動などを増やすなど、より関心・意欲を引き出す授業づくりを心がけていきたいと思っております。
- 各教科の記述式問題に対する平均正答率に改善の余地が見られます。普段の授業のなかで生徒同士で意見を述べ合う授業などを効果的にとり入れ、考えを深める力の向上に努めていきたいと考えています。

（2）学習・生活習慣や意識等に関する調査

【昨年度の目標】

学校行事や体験活動、キャリア在り方生き方教育等の一層の充実を図ることで、「将来の夢や目標をもつ生徒」「難しいことでも失敗を恐れず挑戦する生徒」の割合がいずれも 5 ポイント程度向上することをめざします。また、ご家庭の協力を得ながら、家庭学習の習慣化を図ることもめざします。

【現状と課題】

- 「自分にはよいところがある」という質問に対して、78.3%（74.1%）の生徒が肯定的な回答をしています。キャリア在り方生き方教育等の取組の結果から、自尊感情が少しずつ育ってきていると考えられます。
- 「将来の夢や目標をもっている」という質問に対して肯定的な回答をした生徒の割合は 72.0%（70.5%）となっており、「昨年度の 72.4%から 5 ポイント上げる」という目標を達成することができませんでした。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問について、肯定的に回答した生徒は 95.7%（95.1%）と高く、良好な状況にあると考えられますが、現状に満足することなく、生徒全員で「よくない」という認識ができるよう取り組んでいきます。
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合は 39.1%（50.6%）にとどまり、課題として捉えております。「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」と回答した生徒の割合も 45.4%（59.3%）となり、地域への帰属意識をもっと育てていきたいと考えています。
- 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」「1, 2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した生徒の割合はそれぞれ 76.4%（72.8%）、80.1%（74.8%）となっています。生徒が、自ら学び、他の生徒とのかかわりの中で思考を再構築しながら考えを深められるよう、これからも努力してまいります。
- **自尊感情については少しずつ育っておりますが、まだ夢や目標を明確にもっているとはいえないと考えております。地域に学びながらキャリア教育の充実を図り、自分の在り方生き方をより深く考察し、夢をもって社会に貢献できる生徒の育成に努めてまいりたいと考えております。**
- 学校生活の中で、話し合ったり意見交換をしたりしながら、より深く学ぶ活動が行われている様子がうかがえます。学校が、新しい学習指導要領にあります「主体的・対話的で深い学び」の場となるよう、授業の工夫を図っていきます。

2. 調査結果をもとにした次年度に向けた取組目標

（1）教科に関する取組目標

生徒の学びに向かう力をより高め、知識の習得にとどまらず、知識をどのように「思考・判断・表現」に結び付けるか、を追究しながら、次年度も各教科で 4 領域の平均正答率が全国に比べてすべて上回る状況をめざします。特に、対話型の授業を促進することで、記述式問題において全国平均より 5 ポイント程度上回ることをめざします。

（2）学習・生活習慣や意識等に関する取組目標

学校行事や体験活動を通して自尊感情を高めるとともに、地域への帰属意識を高めながら、「将来の夢や目標をもつ生徒」の割合を今年度より 5 ポイント程度向上させることをめざします。そのために、職業体験など様々な活動で地域とのつながりを意識した活動を充実させ、「地域の行事への参加」に関する質問において全国平均と同程度になることをめざします。

教育委員会から

高津中学校では、キャリア在り方生き方教育の推進を継続的に行い、生徒の自尊感情等の育成に努めています。昨年度は研究推進校として、さらにその取り組みを発展させました。その結果が、調査結果からもうかがえます。また、安全・安心な学校であるために、生徒一人一人を大切にしながら教育活動を実践し、学校教育目標の達成につなげていると感じます。

（高津区・教育担当）